

2学期が始まります

夏休みもあとわずかになりました。2学期の開始と同時に中3生にとっては受験シーズンの幕開けです。特に公立高校入試は2学期の通知表でほぼ8割決まるとされています。5教科の実力だけで勝負できる国私立高校もありますが、もしも不合格だった場合は公立高校受験になることを忘れてはいけません。したがって今日からすぐに実技教科も含めて2学期通知表数値UPを考えて行動するようにして下さい。

まだまだ夏休み気分になっている人をしり目にしっかり日々の学習に力を注いでください。スマホゲームや他人の行動に流されている場合ではありません。特に偏差値60以上の高校を志望している生徒は人並・十人並みでは合格できません。「人のやらない時こそコツコツやる」ことが大切です。〔野垣勝彦〕

日	曜日	内容
8/28	日	中3公開テスト【会場受験】 小4~中2公開テスト
29~30		自習室開室（13:30~22:00）
31	水	完全休室
9/1	木	2学期授業開始
3	土	中3入試突破ゼミ【月3回】
4	日	自習室開室（12:00~18:00）
8	木	テスト対策特別クラススタート
10	土	中3入試突破ゼミ【月3回】
11	日	自習室開室（10:00~18:00）
15~16		オンラインDAY
17	土	中3入試突破ゼミ【月3回】 中間直前ゼミ
18	日	自習室開室（10:00~18:00）
19~24		【授業なし・自習室のみ】
24	土	中間直前ゼミ・数学検定
25	日	自習室開室（12:00~18:00）
29	木	新クラス発表

基礎をちゃんとやる

スポーツでも勉強でも楽器でも、最初は必ず「基礎から始めましょう」と言われます。このとき先生が提示するものが「基礎」なわけですが、これが本当に基礎なのか、教えられる側は判断することができません。したがって、教えられる側は「これが基礎だ」と思い込むしかないので。すると、習熟度が増したのちも、基礎と言われればそれを思い出そうようになります。基礎ということばはこれほど曖昧なものなのです。

自分に必要な練習や能力を考えるとこの曖昧なものに頼ってしまうのはとても危険です。ことばだけを先行させるのではなく、本当に必要なものを考えて実行しましょう。基礎はとても大切なのです。〔金子祐太〕



7/2『特進館理科実験ショー』開催。恒例の理科実験イベントは、今年も多くの参加者で大にぎわい。楽しいひとときを一緒に過ごしました！

7月の“自習王”決定!

- ★中学生の部
中3 金原 直生 48.8 時間
- ★高校生の部
高3 薮下 真帆 120.7 時間

あきらめない心と信念

ここ最近、視聴した映画やアニメのテーマは「あきらめなければ結果は出る」ものが多かったように思います。あきらめずに、一歩ずつでも進む。それはとても難しいことです。努力しているから結果が出てほしいし、結果がすぐに出ないと続けにくい。ですが「これだけは譲れない。あきらめたくない」。そう思えるものを見つけ、その目標を達成するためにはどうしたらいいのか、常に考えられる人生でありたいものです。〔厚地香里〕

9月より開講の入試突破ゼミを受講される中3生の方は、教材費と授業料を合算でご請求となっております。金額の詳細につきましては明細をご確認ください

9月分 8月 29日
学費の振替

利き手・目・耳・足を活用しよう!

「利き手」はどちらですか?と聞かれて悩む人はいないと思います。でも、「効き目」や「利き耳」や「利き足」を聞かれると、ちょっと考えてしまいますよね? ヒトの体は左右対称でなく、体のパーツは左右どちらかが優位になっています。では、その「利き〇」の見つけ方をお話しします。まずは利き目。両手を重ねてすき間を作り、そこから何か1点を見つめます。そして、片目ずつ交互に閉じたとき、両目を見た時とのズレが少ない方が利き目。次に利き耳。これはざっくり携帯を持つ側の耳です。最後に利き足。リラックスして両足を揃えて立ち、体を前に倒した時に出た足が利き足だとのこと。英単語や漢字などを、声に出したり紙に書いたりして覚えますよね。紙に書く時、わざと利き手でない方の手で書くと、脳が刺激されて暗記しやすくなるようです。また、テストの問題や論説文などは、利き目を意識して文章を読むと、集中力が増すとも言われています。このように、自分の体のパーツをうまく活用し、学習に取り組んでみてはいかがでしょうか? あくまで私の個人的見解ですが、もしかして暗記が苦手な人が、短時間で覚えられようになり、集中力が持続したりして、すてきな学習効果が表れる…かもしれません。結果はもちろん自己責任です。でも、ぜひお試しください! [北村昌弘]



代表北村のイチオシ!

中学理科の授業あため動画!

- 1年生
- 2年生
- 3年生

アニメで理科を楽しく学べるぼん先生の授業動画。ぜひご覧ください。

編集後記

早めに取り組み始めた課題、ワークやプリント類は全て終わって、ちょっと気持ちに余裕が出てきた結果…自由研究や絵画・工作など大物が残ってきて焦った経験があるひとは多いのではないのでしょうか。その経験があっても、毎年夏休み後半に何をしようか決まらないまま慌てる我が子。残暑も手伝って、子どもも親もイライラ。それがイヤなので、8月上旬から声をかけても、「言われるとやる気がなくなる…」と定番の返答があるばかり。夏休み後半はできるだけ子どもと距離をとって過ごしたいと思っています。